

でんどうとせんきょうをはなす

よげんしやを おくりました



✓ ● ● ていこくのせいこう
定刻祈りに成功したらチェックしよう

ヨナ 1:1 アミタイの子ヨナに次のような主のことばがあった。

1. イスラエル民族は知りませんでした

- (1) 神様を離れた原罪を知りませんでした (創 3:1~20)
- (2) 人間をだまして神様を離れるようにさせた
サタンの存在を知りませんでした (創 3:1~5)
- (3) 神様が願われる伝道と宣教を知りませんでした
(使 11:1~18)

 ()	 ()	 ()
 ()	 ()	合計点 ()

2. ヨナについてよく見てみましょう

- (1) ヨナは鳩という意味です
- (2) ヨナ書は、B. C. 760年ごろに記録されました

3. ヨナをとおして神様のみこころを知ることができます

- (1) 異邦人も救われることを願っておられます (ヨナ 1:1~11)
- (2) 悔い改めるとみこころを思い直されます (ヨナ 3:1~10)
- (3) 新しい使命である宣教を知るようにされました

4. イスラエルは伝道と宣教をすべてののがしてしまいました

- (1) バビロンの捕虜になりました
- (2) ローマの属国になりました
- (3) 結局、宗教戦争の時代が来しました





✓ 定刻祈りに成功したらチェックしよう

ヨナ 1:1~3 アミタイの子ヨナに次のような主のことばがあった。「立って、あの大きな町ニネベに行き、これに向かって叫べ。彼らの悪がわたしの前に上って来たからだ。」(1~2)

1. ヨナは錯覚しました

- (1) ニネベに行って伝道するようと命じられました(ヨナ 1:1~2)
- (2) ヨナは神様を避けて逃げました(ヨナ 1:3)

2. 神様のみこころを錯覚したヨナは苦しみに陥りました

- (1) 大きい暴風が起きました(ヨナ 1:4)
- (2) ヨナは深い眠りにおちていました(ヨナ 1:5)
- (3) 船の船長にからかわれました(ヨナ 1:6)
- (4) 暴風の原因としてヨナが指定されました(ヨナ 1:7~10)

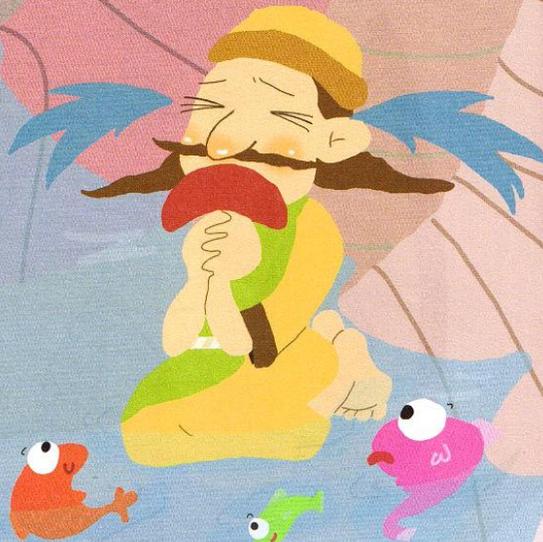
3. 暴風を静める方法があります

- (1) 海はますます荒れてきました(ヨナ 1:11)
- (2) ヨナを海に投げ込むと暴風は静かになりました(ヨナ 1:15)
- (3) 大きな魚がヨナをのみこみました(ヨナ 1:17)



でんどうと
せんきょう
しらなければ

くるしみで いのります



		
()	()	()
		
()	()	()

合計点



✓ 定刻祈りに成功したらチェックしよう

ヨナ 2:10

主は、魚に命じ、ヨナを陸地に吐き出させた。

1. ヨナは信仰で魚の腹の中で祈りました

- (1) 神様はヨナの声聞いてくださいました(ヨナ 2:2)
- (2) 神様がヨナのいのちを救われました(ヨナ 2:6)
- (3) 神様がヨナの祈りを聞いて答えてくださいました(ヨナ 2:7)

2. 信仰があっても伝道をしらなければ苦しんで祈ります

- (1) ヨナは苦しみによって神様に叫びました(ヨナ 2:2)
- (2) 神様はヨナを深い海に投げ込まれました(ヨナ 2:3)

3. 神様は災いと苦しんで悟らせてくださいました

- (1) ヨナは主の聖なる宮を仰ぎ見ました(ヨナ 2:4)
- (2) 神様に自分の誓いはたすと約束しました(ヨナ 2:9)
- (3) 主が命じられると魚はヨナを陸地に吐き出しました(ヨナ 2:10)



でんどうと せんきようを
しらなければ ふへいを
いいます

定刻祈りに成功したらチェックしよう

ヨナ 4:10~11 主は仰せられた。「あなたは、自分で骨折らず、育てもせず、一夜で生え、一夜で滅びたこのとうごまを惜んでいる。まして、わたしは、この大きな町ニネベを惜しまないでいられようか。そこには、右も左もわきまえない十二万以上の人間と、数多くの家畜がいるではないか。」



1. 預言者ヨナは救われたニネベを見て怒りました

- (1) ヨナはニネベが救われて、怒りました(ヨナ 4:1)
- (2) 他の人の救いをくやしく思いました(ヨナ 4:2)
- (3) ヨナは神様に不平を言いました(ヨナ 4:3)

2. ヨナは小さなことに悲しんだり喜んだりしました

- (1) とうごまによって涼しくなったことを喜びました(ヨナ 4:5~6)
- (2) 神様が虫によってとうごまをかむようにされました
- (3) ヨナはいっそ死ぬことを願いました(ヨナ 4:7~8)

3. ヨナに神様がこのように答えられました

- (1) ニネベには死んでいくたましいがあります(ヨナ 4:10~11)
- (2) 悟ることができないなら、子孫が捕虜になります
- (3) 伝道と宣教を悟ることができなければ、国家と時代が減びます

